

キャンドルの集い（小学生）

司会（進行）		○セリフ ●各系の動き
マイクセット・司会者席で待機		会場外で待機（衣装に着替える。ローソクを立てる（火はつけない）。順番に並び
1部開始	只今からキャンドルの集い。第1部「灯火（ともしび）の集い」をはじめます。	会場の照明を消す
説明	全員その場に立ってください。	
	静かに目を閉（と）じて、心を落ち着かせて下さい。	○チーフ 真っ赤な太陽が、西の海にゆっくり沈（しず）んでいきました。ここ青少年の家にも、夜がやってきました。私達は、多くの仲間と一緒に暮（く）らし活動しています。その中で、友達の良さを知ることができました。こよいは、私たちの心をつつにして、思い出に残る、キャンドルのつどいにしようではありませんか。
入場	そっと、目を開（あ）けて下さい。火の神、神の子が入場します。	●火の神・神の子 火の神→神の子の順に入場。燭台を一周して神の子とむかい合います。火の神のローソクは点灯。神の子はローソクに火をつけない。
採火	青少年の火の採火（さいか）を行います。	●火の神 前進して親火（青年の火）に採火（さいか）し元の位置（いち）にもどる
火の神	火の神のことば	○火の神 満天に星座かがやき、自然のめぐみにいだかれた周防灘の波音の聞こえる所、ここ香々地青少年の家で、私たち〇〇小学校は今夜ここに聖なるひを迎え思い出に残るキャンドルの集いをおごそかに行おうとしています。信頼と友情の火を高々とかがけて楽しく意義あるひと時をすごしたいと思います
点火	点火	○神の子 （神の子1から順番に火の神の前まで行き点火して元の位置にもどる） （神の子1）今、きまりの火がともされました。 （神の子2）今、助け合いの火がともされました。 （神の子3）今、思いやりの火がともされました。 （神の子4）今、平和の火がともされました。
	班長さん、一歩前を出て下さい。	●班長 一歩前に出る
	分火のことば	○火の神 わが友に、ともしびを、わかち、あたえよ。
	神の子は、班長さんに火を分けてください。	●神の子 班長に分火して定位置にもどる
説明	チーフの言葉	○チーフ 今、ここにともされた火は、一本一本は弱くとも、たくさん集まれば鉄（てつ）でもとかす、おそろしいほどのエネルギーをもっています。人間はこの火を発見（はっけん）したことから、すばらしい生活をする事ができたのです。この熱、この力、この光が、きっと私たちの心の中に、明るく、強く正しく生きるための、がんばりをあたえてくれるものと思います。
	火の神の献火（けんか）をお願いします。（燭台最上部）	●火の神 燭台最上部に献火（けんか・ローソクを立て）、元の位置に戻る
献火	続いて、神の子献火（けんか）をお願いします。	●神の子 燭台上部に献火（けんか・ローソクを立て）、火の神の横に並び燭台を見る
	〇班から〇班までの人、燭台（しょくだい）の周りに集まってください	●参加者 中心部からローソクを立てる。手前が熱くなるので注意 ※先生方は燭台付近に待機し、献火した後のローソク立てを回収する。また、中心部から献火させる。生徒の火傷に注意。
歌	みなさん、中央（ちゅうおう）の燭台（しょくだ）を見つめてください。きれいですね。みなさんのささげた炎（ほのお）が、黄色（きいろ）にそして赤くかがやき、今をさかりと燃（も）えあがっています。この炎（ほのお）が燃えあがり、天までこがすように燃（も）えろよ燃えろ”を3番まで元気に歌いましょう。	○合唱

誓いの言葉	誓（ちか）いのことば	○児童代表 わたしたち〇〇小学校は、すばらしい海と山にかこまれた、この青少年の家で多くの友達と友情を深め、みんなで力を合わせ、有意義（ゆういぎ）な生活をおくっています。これからも、友だちをだいじにし、より楽しい小学校生活をおくりたいと思います。 平成〇〇年〇〇月〇〇日〇〇小学校 代表 ○ ○ ○ ○
	すばらしい誓（ちか）いのことばでした。はくしゅをお願いします。	○拍手
1部終了	火の神のたったひとつの火から、つぎつぎに明るい火がともされて、大きな美しい火の輪ができました。今、ここに、友情のきずなが、ひとりひとりの熱い胸にともされたことを信じつつ、第1部”ともしびのつどい”を終わります。	
退場	火の神、神の子が退場（たいじょう）します。はくしゅで送ってください	●火の神・神の子 火の神を先頭に神の子は退場。燭台をまわらず、そのまま退場します
	みなさん、すわってください。	●照明をつける

2部	これから第2部おたのしみのつどいを始めます。	◆歌やゲームで楽しむ
----	------------------------	------------

3部開始	みなさんキャンドルを中心に、座ってください	
	第3部”別れのつどい”をはじめます。	●照明を消す
	目を閉じて下さい→心を落ちつかせて下さい	
	目を開けて下さい。	
入場	火の神、神の子が入場します。	●火の神・神の子。1部入場と同様。燭台を一周して神の子とむかい合います。
鎮火	神の子は、親火（青少年の火）だけを残して、火をはずめて下さい。	●神の子 親火（青少年の火）を残し燭台のローソクを消す
説明		○チーフ 大きな声で歌い、ゲームに熱中しているうちに、いつの間にか夜もすつかりふけ、たのしかったつどいの時間も終わろうとしています。明るく燃えていた炎（ほのお）も、もとの親火にかえりました。この火のかがやきが、わたしたちの心の中に焼（や）きついています。その火はこれから伸（の）びようとする少年の心をあらわしているようです。心の中に灯（とも）った友情の火は、明るくそしてうつつくかがやきいつまでもいつまげも、燃え続けることだと思います。
合唱	〇〇〇〇小学校の校歌を歌いましょう。	○校歌合唱
退場	火の神、神の子が退場します。拍手でお送り下さい	●火の神、親火（青少年の火）を取りに行き、神の子を従えて、燭台を一周し退場
	こよいともされた、美しくかがやく友情の火を、みなさんの心の中にいつまでも燃やし続けてください。〇〇〇〇小学校の限りない発展と、みなさんひとりひとりの幸福（しあわせ）をお祈（いの）りして、キャンドルのつどいを終わります。	
片付	燭台→非常口　ブルーシート→小さくたたみレク室倉庫　ローソク→まとめてバケツへ　衣装・ローソク立て→指導員に返却 マイク→コードを抜きまとめる　長机→音響の前　参加者ローソク立て→レク室倉庫	

- 係分担
- 司会・進行（数名で担当可）
 - チーフ（ナレーションをする。数名担当可）
 - 神の子（児童代表4名限定）
 - 火の神（学校代表教師1名）